

北海道大学苫小牧演習林

木村 与吉

明治37年に創設された北海道大学苫小牧演習林は、私の大好きな自然観察の場所である。清らかな幌内川の流れると、緑がたっぷりの樹林にあふれ、野鳥も多く四季折々に種類の変化が見られる楽しみのあるところである。

位置は苫小牧市高台にあり、JR 苫小牧駅から北へ6キロ、総面積は2,700ヘクタール、地質は支笏湖火山群の噴出物に蔽われている。地形は概して平坦である。[註] 交通機関は苫小牧市営バスターミナルから [22](#) 演習林ゆき。所要時間約25分。札幌市内からは車で1時間30分ぐらいの距離程である。



こうした地域の上には、広葉樹林が広がっており、森林形態上からは温帯北部樹林に属しているがここではブナは見られない。こうした天然林のほかにトドマツ、カラマツなどの研究用の人工造林地、防火線や高圧送電鉄塔下の伐開地に川や湿地がある。林床にはシダ類が多く、ササ類は少い。

このような環境から野鳥類の数も多く、演習林サイドの調査研究などによれば、夏期（6、7月）では52種。そのうち留鳥が20種、夏鳥が32種となっている。冬期（11月～3月）の調査では43種で、留鳥、漂鳥とみなされるものを除く11種が冬鳥と考えられた。

[註] 参考文献：北大農学部演習林研究報告（29-1、30-1）

最近の演習林内でクマガラが見られなくなったのは寂しいが、今年2月に野鳥観察に行ったときのメモをご披露したい。

- 植木園入口（標識）左手の池：ホオジロガモ、マガモ
- 駐車場一林内へ：シジュウカラ、ヒヨドリ、ゴジュウカラ、アカゲラ、ツグミ
- 餌台：ミヤマホオジロ、ヤマガラ、ハシブトガラ
木々の下一雪の上：カシラダカ、ミヤマホオジロ

木々の上：シメ、ヒヨドリ、カケス
(声)、ドラミング聞こゆ。

- 観測塔へ：エナガ
- 林道：エナガ、ハシブトガラ、ゴジュウカラ
- 同右方向：アカゲラ、ミヤマホオジロ(♀、♂)、もう一つのドラミング。オオアカゲラと確認。
- 餌台まで戻り：ミヤマホオジロ、トビ、ヤマゲラー久し振りに会った！オオタカーカラス2羽がまとわりついている。ハイタカ
- 構内の池（庁舎西側）：氷の上にセグロセキレイ。アメリカヒドリ、オナガガモ、マガモ、ヒドリガモ、ホオジロガモ（岸辺のアシのなか）ミヤマホオジロ、ヒヨドリ



ミヤマホオジロ

アメリカヒドリとミヤマホオジロに出会えて感激した。

最後に、ここは研究施設であるため、植物、昆虫、魚などの採集は禁じられていることを付記しておきます。